

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	足利短期大学
設置者名	学校法人足利大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
	こども学科	夜・通信			23	23	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページにて公表 https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2025/06/VII-2-R7_実務経験のある教員等による授業科目の一覧表.pdf https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2025/06/2025_シラバス実務経験のある教員等による授業科目原稿.pdf.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	足利短期大学
設置者名	学校法人足利大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://ashikaga.ac.jp/yakuin/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社社長	2025.6.11 ～2028 会計 年度の定時 評議員会終 結のとき	地域連携
非常勤	信用金庫理事長	2025.6.11 ～2028 会計 年度の定時 評議員会終 結のとき	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	足利短期大学
設置者名	学校法人足利大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程は以下のとおりである。 1. 科目担当教員へ原稿の作成を依頼 2. 原稿を入稿後、科目担当教員へ校正紙の校正を依頼 3. 校了後、学内委員会にて担当教員以外の第三者によるシラバス内容の確認を実施 ・授業計画の作成・公表時期は以下のとおりである。 1. 冊子およびホームページ用データの作成 2. 冊子は3月下旬の在学生ガイダンスおよび4月初旬の新入生ガイダンスで配付 3. ホームページへは4月上旬に掲載	
授業計画書の公表方法	・刊行物「シラバス」を作成し、請求者に配付 ・本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2025/06/シラバス_2025.pdf)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・各科目の内容によって評価方法・基準を適正に定め、シラバスにその内容を公表している。また、小テストを行うことにより、学修成果を把握している。 ・単位授与に関しては、「学則」の定めているほか、「授業科目修了の認定に関する規程」を設けており、それに則り厳格かつ適正に行っている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・GPA等の客観的な指標の具体的な内容 「授業科目修了の認定に関する規程」において以下の通り定めている。 単位修得の評価は、優、良、可、不可の4段階に分け、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とし、可以上を合格とする。 GPA制度による成績評価を併せて行う。なお、GPAの計算方法は次のとおりとする。 履修した授業科目の成績に基づくGPは、優が1単位につき3点、良が1単位につき2点、可が1単位につき1点、不可が1単位につき0点とし、履修した全授業科目の合計点を履修総単位数で除して算出する。 ・客観的な指標の適切な実施状況 GPAの計算方法に則り、各学生のGPAを算出し、個々の成績通知に記載すると共に、学生の成績順位一覧および成績分布表(GPA)を作成し、学生の成績状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	・刊行物「キャンパスガイド」を作成し、請求者に配付 ・本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/themes/ashitan20190601/pdf/II_4_1_grade_point_table.pdf)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容 卒業までに身につけるべきこととして、以下のことが求められ、所定の単位を修得した者には、卒業を認定し、短期大学士（保育学）の学位を授与する。 1. 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できる力を身につける 2. 保育職の社会的役割について認識し、保育に専心しようとする職業観をもつ 3. 専門を超えて学び、広い視野でものごとを捉えることができる 4. 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができる 5. 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決に当たることができる ・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 卒業判定会議（教授会）にて卒業の認定に関する方針、修得単位数等の卒業条件を確認して判定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	・刊行物「キャンパスガイド」を作成し、請求者に配付 ・本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2023/06/II-4-3-ディプロマ・ポリシー.pdf)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	足利短期大学
設置者名	学校法人足利大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに掲載している事業報告書の22ページ参照 https://ashikaga.ac.jp/jigyouthoukoku/
収支計算書又は損益計算書	ホームページに掲載している事業報告書の19～21ページ参照 https://ashikaga.ac.jp/jigyouthoukoku/
財産目録	ホームページに掲載している事業報告書の23ページ参照 https://ashikaga.ac.jp/jigyouthoukoku/
事業報告書	ホームページに公表 https://ashikaga.ac.jp/jigyouthoukoku/
監事による監査報告(書)	ホームページに掲載している事業報告書の32ページ参照 https://ashikaga.ac.jp/jigyouthoukoku/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページにて公表 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2022/04/令和3年度自己点検評価報告書.pdf)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページにて公表 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/archives/15590)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 こども学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/themes/ashitan2021/pdf/7-1.pdf)）
（概要） こども学科では豊かな感性と教養を身につけると共に、保育に関する専門的知識と技術を習得し活用・応用できる力を持った人材の育成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：刊行物「キャンパスガイド」を作成し、請求者に配付および本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2023/06/II-4-3-ディプロマ・ポリシー.pdf)） （概要） 卒業までに身につけるべきこととして、以下のことが求められ、所定の単位を修得した者には、卒業を認定し、短期大学士（保育学）の学位を授与する。 1. 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できる力を身につける 2. 保育職の社会的役割について認識し、保育に専心しようとする職業観をもつ 3. 専門を超えて学び、広い視野でものごとを捉えることができる 4. 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができる 5. 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決に当たることができる
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：刊行物「キャンパスガイド」を作成し、請求者に配付および本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2023/06/II-6-1-カリキュラム・ポリシー.pdf)） （概要） 1. 仏教的精神について学び、保育に応用するための科目を開設する 2. 社会人として教養を滋養するための一般教育科目を開設する 3. 専門的な知識・技術をもって社会に貢献できる保育者育成のための科目を開設する 4. 表現力や協働性を確かなものにするための演習科目を開設する 5. 実習カリキュラムを段階的に組み立て、年間を通して実習指導科目を開設する
入学者の受入れに関する方針（公表方法：刊行物「キャンパスガイド」を作成し、請求者に配付および本学ホームページに掲載 (https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2023/06/II-2-1 アドミッション・ポリシー.pdf)） （概要） こども学科では、生命と人権を尊重するとともに、人とあたたかい関わりのもてる人間性豊かな保育者を養成することを教育目標とし、以下のような資質を有する入学者を求めます。 1. 保育者（幼稚園教諭・保育士）になるという、明確な意思と目標を持っている人 2. 高校までの部活動・ボランティア活動等に積極的に取り組み、社会性を身につけている人 3. 他者への思いやりを持ち、人間関係を深めようと努力できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2025/06/II-1-2-教員組織 1R7.pdf
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	人	－					人
こども学科	－	1人	1人	2人	人	人	4人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		16人					17人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページにて公表 https://ashikaga.ac.jp/ajc/department/child-teachers					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
F D活動は、自己点検・評価委員会が中心となり、全学的に組織的・計画的に実施する。 F D活動の内容は次の通りとする。							
(1) F D研修会の実施							
(2) 公開授業の実施							
(3) 授業アンケートの実施 集計結果による報告書提出 評価が低い科目についての改善計画書提出							
(4) 卒業年次生アンケートの実施							
(5) 卒業生アンケートの実施							
(6) その他必要な活動							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
こども学科	—人	0人	0%	50人	39人	78%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	—人	0人	0%	50人	39人	78%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
こども学科	29人 (100%)	1人 (3.4%)	27人 (93.2%)	1人 (3.4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	29人 (100%)	1人 (3.4%)	27人 (93.2%)	1人 (3.4%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
【幼稚園】 足利くるみ幼稚園
【保育園】 足利本城保育園、しんまち保育園、わかば保育園 他
【認定こども園】 認定こども園やばがわ幼稚園、両野こども園 他
【福祉施設】 社会福祉法人すぎのこ会、すみれ乳児院 他
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
こども学科	35人 (100%)	29人 (82.9%)	1人 (2.8%)	5人 (14.3%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ・授業計画（シラバス）の作成過程は以下のとおりである。 1. 科目担当教員へ原稿の作成を依頼 2. 原稿を入稿後、科目担当教員へ校正紙の校正を依頼 3. 校了後、学内委員会にて担当教員以外の第三者によるシラバス内容の確認を実施 ・授業計画の作成・公表時期は以下のとおりである。 1. 冊子およびホームページ用データの作成 2. 冊子は3月下旬の在学生ガイダンスおよび4月初旬の新入生ガイダンスで配付 3. ホームページへは4月上旬に掲載
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・各科目の内容によって評価方法・基準を適正に定め、シラバスにその内容を公表している。 また、小テストを行うことにより、学習成果を把握している。 ・単位授与に関しては、「学則」の定めているほか、「授業科目修了の認定に関する規程」を設けており、それに則り厳格かつ適正に行っている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	こども学科	62単位	有・無	54単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2023/08/1-3-1-1.pdf https://ashikaga.ac.jp/ajc/wp-content/uploads/2025/06/1-3-1-キャンパス概要R7.pdf
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	こども学科	1,010,000 円	300,000 円	29,000 円	教科書代
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 2年間の履修によって、幼稚園教諭二種免許状および保育士資格などを取得できるように編成し、「科目ナンバリング」や、「カリキュラムツリー(履修系統図)」により教育課程の構造を分かりやすく明示し、履修科目の選別を容易にしている。 成績評価は、シラバスに記載された評価の方法基準に則り行われている。方法・基準は「平常試験」「定期試験」「レポート課題」「実技」「授業態度」が主な評価事項で、どの項目に重点を置くかは各科目担当教員に委ねられている。教員は初回授業開始時にシラバスをもとに成績評価の在り方について具体的に学生に説明し、教育の質を保証するため各担当教員によって厳正な成績評価が行われている。また成績評価に付帯するものとして、キャンパスガイドに「授業科目修了の認定に関する規程」「授業回数および欠席の取り扱いについて（申し合わせ事項）」を明示し出席管理を厳格化している。また、GPA 制度による成績評価も併せて行っている。 科目を担当する教員は、シラバスに「開講学年・時期」「授業科目名」「授業形態」「単位数」「資格」「評価方法・基準」「教科書」「授業計画(回数、内容)」「準備学習」等を明示し、「授業概要」では、「授業の内容・方法」や「到達目標」がわかりやすくまとめられている。また、「担当者からのメッセージ」を設け、学生の学習意欲につながるよう記載内容を工夫している。科目担当者には、学習成果を踏まえた到達目標や準備学習について明確になるよう、また課題等に対するフィードバックを授業で行う旨、また、グループワーク、ディスカッション、ディベートなどのアクティブラーニング、準備学習等にかかる時間、リアクションペーパー使用、およびオフィスアワーについて明記した。 また、「カリキュラムマップ」を用いて、科目とディプロマポリシーの達成との対応について、わかりやすく提示している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 教職員の連携組織として「進路委員会」が設置され、月に1度開催される委員会では、職業教育を含めて、様々な問題についても定期的に討議を行っている。また、その委員が中心となって、職業教育として「進路指導講座」を開講している。この講座は、1年次後期及び2年次前期に毎週一度開講され、学生一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる態度を育てることを通して、キャリア発達を促している。 さらに、進路指導室が設置され、そこには専任の職員が配置されており、学生の就職、その他の進路の相談に個別に応じている。 本学科は保育者養成の学科であり、教養教育を基盤として保育者としての専門性を育成し、その上で職業への接続を図っており、職業教育の実施体制は明確である。 （「進路指導講座」の効果の測定・評価は、卒業年次生学生を対象とした足利短期大学の教育等に関するアンケート調査及び、学生による授業アンケート調査により行われており、改善に取り組んでいる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の健康管理については、保健室を設け学校保健安全法に基づき、4月には健康調査と定期健康診断を実施。またインフルエンザ等の感染症罹患状況を把握している。4月に実施される健康診断の結果から指導の必要な学生に関しては、医務室担当の元足利大学看護学部助手が対応して、実習・就職・進学等に必要な健康診断証明書を整えている。その他、学内や通学途中で発生した傷病の応急処置、出席停止の管理等を医務室で行っている。授業期間中の事故による外傷で医療機関において治療を受けた場合は、「学生教育研究災害障害保険」等が適応される。

メンタルヘルスケアやカウンセリングは、2名の専門カウンセラーが担当し、毎週木曜日・金曜日の12:00～18:00としている。

ハラスメントに関する相談は「ハラスメント対応規程」をもとに、男性、女性より各1名ずつ計2名の教員がハラスメント対応委員として対応し、その防止に努めている。特に重大な事案については、ハラスメント対応委員会を開催し事実関係の解明とその救済措置を行うことになっている。

学生生活に関する意見や要望の聴取については、学生委員会の教職員が学生より直接聴取する方法や、質問用紙によるアンケート調査を実施し、学生の意見や要望の聴取に努め、学生生活の充実に配慮している。

また、昨年度より学生の「声」を聴く意見箱が設置された。事務長が内容を確認し、個人情報を守秘し、内容により不利益や被害を被ることのないよう十分に配慮するという形でそれぞれ対処する。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにて公表

<https://ashikaga.ac.jp/ajc/college/collegell>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F209310101686
学校名（○○大学 等）	足利短期大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人足利大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ ）人	－（ ）人	11人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				11人（－）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲 が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	—
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	—	—
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。